ひびき通信

平成 25 年 9 月版

センター全館の消防設備点検

異常なし確認

在宅サポートセンター生田の消防設備点検が八月二十九日に行われました。当センターは、火災を感知した際、自動的に消防署へ連絡が入る火災報知システムを導入しています。また、一階の事務所や倉庫、二階のグループホームのフロアや各居室にはスプリンクラー設備が完備されています。今回の点検では、全館に設置されている煙感知、熱感知器の作動と消防署への通報システムの状態をチェック。異常のないことを確認しました。

冷たいそうめんで夏の暑さを吹き飛ばす

デイサービス響で納涼流しそうめん大会開催

すくっては食べ すくっては食べる

「格別のおいしいさ」にお腹いっぱい、大満足

デイサービス響の納涼流しそうめん大会が、このほどデイサービスのフロアで開催されました。フロア中央に設置された特製流し台の周りに陣取ったご利用者たちは、冷たい水と一緒に流れてくるそうめんを巧みな箸使いですくい上げては、暑さを忘れて舌鼓を打っていました。

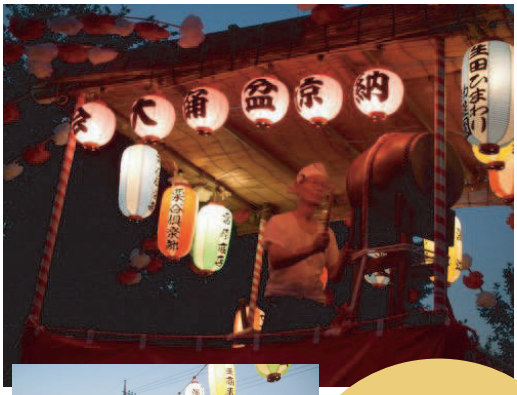
初めて屋内で開催した流しそうめん大会

今回の流しそうめんは、夏ならではのイベントを開催しようと、職員たちが以前から企画していたものです。スイカ割りや金魚すくいなどのイベントも候補にあがりましたが、やはり「夏と言えばそうめん」というご利用者からのリクエストもあり、初めて屋内での開催となりました。茹でたてのそうめんを氷で冷やし、みかんやパイナップルと一緒に流し始めると、ご利用者たちは、夢中でそうめんをすくっては食べ、すくっては食べる、さながら会場は〝そうめんバトル〟の様相に。普段は少食のご利用者も、この日ばかりは周囲の雰囲気に背中を押されたのか、お椀二膳分のそうめんを召し上がるなど、夏の暑さを吹き飛ばす、お腹いっぱいの一日を過ごしました。

流れてくるそうめんをすくっては食べ、すくっては食べるご利用者たち

夏の夜祭りを満喫

浴衣に着替えて参加したご利用者も



栗谷町内会
納涼
盆踊り大会

グループホーム響

グループホーム響ではこのほど、栗谷町会主催の盆踊り大会に参加しました。やぐらが組まれた須賀社境内脇の盆踊り会場には、家族連れなどがたくさん集まり大賑わい。ご利用者の中には浴衣に着替えて張り切って参加する方も。東京音頭や生田音頭などのお囃子に合わせて、見よう見まねで盆踊りを楽しみました。このあと、夜店の焼き鳥を食べながら、夏の夜祭の雰囲気を存分に楽しみました。

生活ケアに根ざした入浴法

こだわりの入浴セミナーで学びます

お湯を張ったお風呂で実習します

9月 29 日に当センターで開催

在宅サポートセンター生田主催の入浴セミナーが九月二十九日に開催されます。片マヒや車椅子を利用されている方でも、機械に頼ることなく、普通のお風呂に、普通に入るための入浴介助法を学びます。

セミナーでは、生活ケアに根ざした入浴法の考え方や、健側移乗などの基本となる介助法を学んだあと、実際にお湯を張ったお風呂に移動。介助する側、される側を体験しながら、入浴法を学びます。受講料は三千円。定員十五名。定員になり次第、締め切らせていただきます。

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。
発行日：2013 年 9 月 1 日　　発行者：岸　忠宏
発行所：日本ケア創造株式会社　　住　所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ
デイサービス響　　居宅介護支援事業所 響
グループホーム響　　宅老所「ほっと生田」